



平成 21 年 3 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社宮入バルブ製作所
代表者名 代表取締役社長 高井 洋
(コード番号 6495 東証第 2 部)
問合せ先 取締役総務部長 佐野邦男
(T E L 03-3535-5575)

当社株式の時価総額に関するお知らせ

当社株式は、平成 21 年 2 月におきまして、時価総額が 6 億円未満となりましたので、今後の見通し等につきましてお知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、平成 21 年 2 月末の月末時価総額が 6 億円未満となりました。東京証券取引所有価証券上場規程第 601 条第 1 項第 4 号 a では、9 か月（事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面を 3 か月以内に東京証券取引所に提出しない場合にあっては 3 か月）以内に、毎月の月間平均時価総額及び月末時価総額が 6 億円以上（注）とならないときは、上場廃止になる旨規定されております。

（注）上場株券に係る時価総額基準につきましては、平成 21 年 1 月末より同年 12 月末まで、基準を一部変更して適用される旨、東京証券取引所より公表されております。

（ご参考）

（1）平成 21 年 2 月の月間平均当社株式時価総額	673,614,893 円
（2）平成 21 年 2 月末（2 月 27 日）の当社株式時価総額	586,199,220 円
（2 月末終値 12 円 × 2 月末上場株式数 48,849,935 株）	

2. 今後の見通しについて

当社といたしましては、既存事業であります L P G 用バルブ類の製造原価低減施策として、海外よりの部品調達の拡大および新生産管理システムの導入による生産効率の向上施策等の諸施策を推進し、収益性の向上を目指すと共に、新規事業といたしまして従来から取り組んでおります L N G を中心としたクリーンエネルギー分野の新製品および高付加価値製品の早期開発も同時に行い、事業規模の拡大を図ってまいります。

当社は、上述の既存事業の収益性向上施策および新規事業での業績拡大施策を強力に推進することにより、さらなる経営効率の向上と収益力の強化を図り、今後とも東京証券取引所での上場を維持するよう努めてまいります。

また、今後 3 か月の間に東京証券取引所へ「事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面」を提出、開示する予定であります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には多大なご迷惑並びにご心配をお掛けいたしますが、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上